

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2018

September  
No.1079

9月

表紙

第59回  
少年少女体育大会



Pick up

- ✿ 町議会議員決まる
- ✿ 本別きらめきタウンフェスティバル2018が開催されます
- ✿ 本別高校の支援の輪を広げる町民の集いが開かれました
- ✿ 本別・南三陸ふるさと交流研修会に行ってきました
- ✿ 夏のイベントが盛大に開催



改選後、初めて開かれた臨時議会の様子

## 議長に 高橋利勝 議員 副議長に 藤田直美 議員 を選出

改選後初の臨時議会が8月10日に役場議場で開催され、議員12人による投票の結果、議長には高橋利勝議員、副議長には藤田直美議員が選出されました。  
また、同17日の臨時議会では、監査委員に方川一郎議員が選出されました。

# 本別町議会議員決まる

任期満了に伴う本別町議会議員選挙が7月21日に行われ、新人議員4人を含む12人が決まりましたので、お知らせします。

### 開票の結果

	投票結果数	平成26年前回数
選挙当日有権者数	6,252人	6,476人
投票者総数	4,772人	5,073人
棄権者総数	1,480人	1,403人
投票率	76.33%	78.34%
有効投票数	4,740票	5,033票
無効投票数	32票	40票

氏名	得票数
水谷令子	647票
藤田直美	601票
石山憲司	382票
柏崎秀行	378票
大住啓一	358票
梅村智秀	295票
阿保静夫	293票
高橋利勝	289票
方川一郎	286.666票
黒山久男	284票
山西二三夫	267票
篠原義彦	248票

当選者  
(得票順・敬称略)

問い合わせ  
選挙管理委員会  
議会事務局  
022-81-2141  
022-81-2143



⑪ 藤田直美  
当2・52歳



⑨ 方川一郎  
当6・69歳



⑦ 山西二三夫  
当5・72歳



⑫ 高橋利勝  
当8・69歳



⑩ 阿保静夫  
当8・60歳



⑧ 黒山久男  
当5・76歳



⑤ 篠原義彦  
当2・70歳



③ 梅村智秀  
初・42歳



① 水谷令子  
初・61歳



⑥ 大住啓一  
当3・65歳

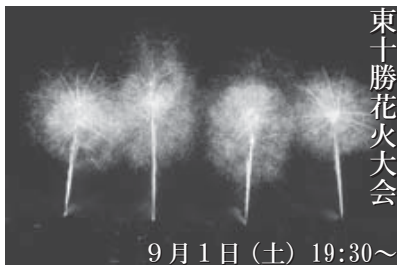


④ 石山憲司  
初・69歳



② 柏崎秀行  
初・46歳

新しい議員を紹介します  
(議席番号順・敬称略)



東十勝花火大会

9月1日(土) 19:30~

快盗戦隊ルパンレンジャー  
VS 警察戦隊パトレンジャーショー

9月2日(日)

- ① 11:00~
- ② 14:00~



※ショー終了後、  
撮影会、サイン  
会あり(有料)

©2018 テレビ朝日・東映AG・東映

9月2日(日)

- 10:00~ うまいもの市、売店コーナー、  
友好都市徳島県小松島市、白糠町物産市  
ふわふわランド、フリークライミングウォール  
ばん馬レース  
陸上自衛隊第5音楽隊演奏
- 11:00~ 熱気球体験試乗(幼児無料、小学生以上1回500円、  
高校生以上1回1,000円)  
ネイルアート・フェイスペイント  
キャラクターショー1回目  
『快盗戦隊ルパンレンジャー  
VS 警察戦隊パトレンジャー』
- 11:30~ 「きらめくKID'S」×「とるね」撮影会(無料)
- 12:00~ 郷土芸能(義経太鼓、本別小唄)
- 14:00~ キャラクターショー2回目  
『快盗戦隊ルパンレンジャー  
VS 警察戦隊パトレンジャー』
- 15:15~ ショート音楽ライブ
- 15:45~ FM-JAGA ステージショー  
・オクラホマ ・Bean's-1 グランプリ
- 18:00~ STVラジオ公開録音歌謡ショー  
・丘みどり・平松愛理・こおり健太・近江亜矢  
歌謡ショー終了後 お楽しみ抽選会

9月1日(土)

- 11:00~ うまいもの市、売店コーナー、  
友好都市徳島県小松島市、白糠町物産市  
ネイルアート・フェイスペイント
  - 13:00~ 浅草・仲見世手焼きせんべい実演限定無料販売  
ふわふわランド、フリークライミングウォール  
本別ジュニアアンサンブル・  
本別中学校吹奏楽部・本別高校吹奏楽部演奏
  - 16:30~ Dancing Stars ステージショー
  - 17:00~ 豆のまち本別PRステージショー
  - 17:45~ 道新プレゼンツ「FM-WINGスペシャルステージ」  
・Eriko to.(えりこと)  
・Gospel Choir Sisters
  - 19:00~ 開会式&花火点火セレモニー
  - 19:30~ 東十勝花火大会(6,000発)
- 花火大会終了後 お楽しみ抽選会

STVラジオ  
公開録音  
歌謡ショー



丘みどり



平松愛理



こおり健太



オクラホマ

FM-JAGA  
ステージ  
ショー

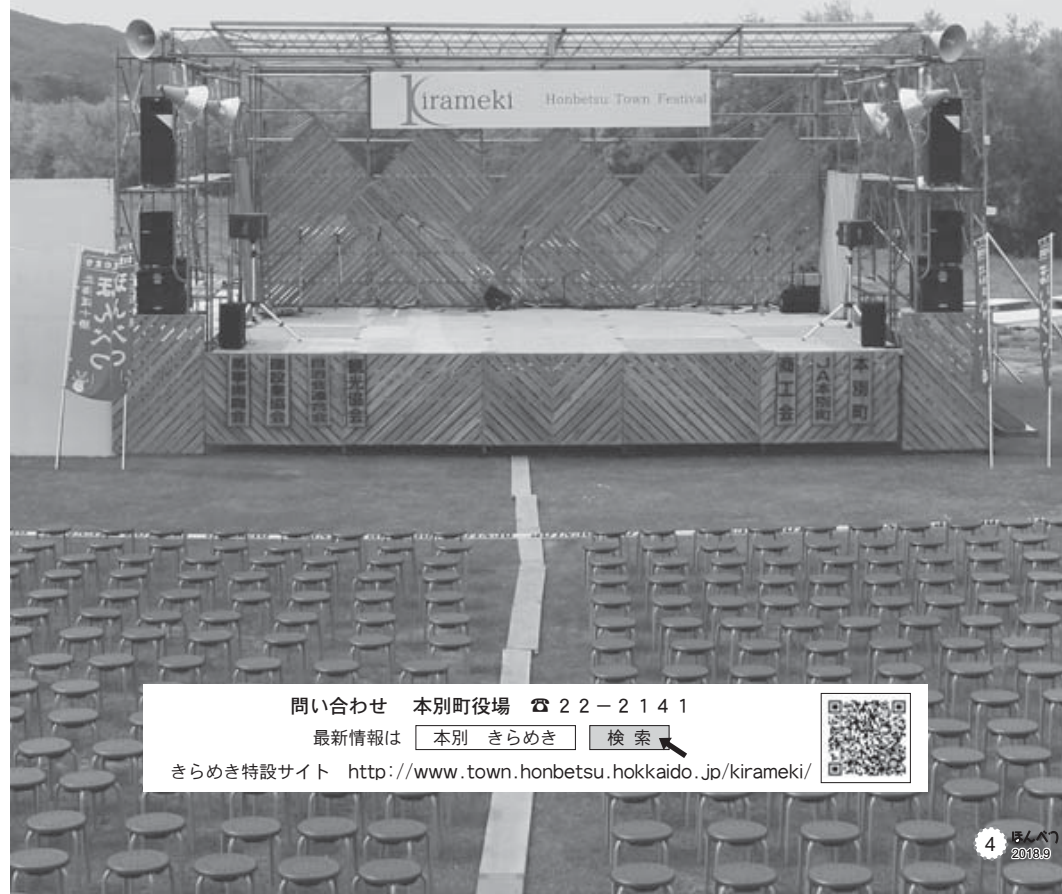
第22回 2018  
本別きらめきタウンフェスティバル

9月1日(土)・2日(日)  
利別川河川敷地特設会場

主催：本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会

共催：本別町・本別町農業協同組合・本別町商工会・本別町観光協会・本別建設業協会  
本別町馬事振興会・本別町自治会連合会・北海道新聞帯広支社・十勝毎日新聞社  
十勝ふるさと市町村圏東北ブロック実行委員会

後援：帯広開発建設部・十勝観光連盟・株式会社明治本別工場・北海道糖業株式会社本別製糖所  
支援：陸上自衛隊第5旅団・本別建設業協会二世会



問い合わせ 本別町役場 ☎ 22-2141

最新情報は

きらめき特設サイト <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/kirameki/>





### 重要業績評価指標 (KPI) の進捗・達成状況

基本目標4に掲げる「将来にわたって元気な地域をつくり、安心・安全な暮らしを確保する」取り組みの重要業績評価指標についての実績や達成状況については、以下の通りとなっています。

なお表中、最右列の達成度のアルファベット表示は、目標指標に対する達成状況の目安として、A：目標値達成、B：目標値の7割以上達成、C：目標値の5割以上達成、D：目標値の5割未満達成の区分により表示しています。

重要業績評価指標 (KPI) : Key Performance Indicator の略称  
施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう

主な施策項目	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (平成31年度)	実績値		達成度	
			(上段H28)	(下段H29)	(上段H28)	(下段H29)
1. 暮らしの安心を確保する基盤整備	循環バス利用者数	17,800人	14,537人	12,800人	B	B
	高校生の路線バス利用者数	15人 (平成27年度)	14人	12人	B	B
	路線バスの団体利用助成者数	300人 (平成27年度)	292人	315人	B	A
	住宅改修助成件数	300件 (5年累計)	152件	312件	A	A
	住宅取得助成件数	50件 (5年累計)	6件	17件	D	C
	障がい者の転入者数	8人 (5年累計)	6人	11人	A	A
	買い物支援サービス利用者数	30人 (5年累計)	13人	22人	A	A
	2. 健康で安心して暮らせるまちづくり	健康寿命	(男性) 82.52歳 (女性) 86.67歳	—	—	—
平均寿命	(男性) 84.12歳 (女性) 89.80歳	—	—	—	—	平成31年測定
3. 町民力を活かす地域コミュニティと地域間連携の推進	資源集団回収参加自治体・団体数	83団体	83団体	82団体	A	B
	消防団員数	95名	96名	95名	A	A
	自主防災組織数	25団体	20団体	20団体	B	B
	浦幌線バス利用者数	16,000人	14,479人	11,737人	B	B
			11,737人	—	B	—

各施策のKPIについて平成28年度は11項目中5項目が「A. 目標値達成」、5項目が「B. 目標値の7割以上達成」、1項目が「D. 5割未満の達成」となりました。

また、平成29年度は、5項目が「A. 目標値達成」、5項目が「B. 目標値の7割以上達成」、1項目が「C. 5割以上の達成」となりました。

安心して住み続けることができる住環境づくりと地域経済の活性化を図るための住宅改修助成では、3か年で400件を超える制度利用があり、改修費用含め全体の経済効果額としては、4億円程度の波及効果となりました。

また、全国的にも高いリサイクル率を支える資源集団回収事業では、参加自治体・団体数が1団体減少しましたが、引き続きゴミの減量化やリサイクルの推進に取り組むとともに、本別の町民力を生かす地域コミュニティの醸成や推進につなげていくことが重要です。

5月号からスタートした「シリーズ地方創生」。前号までに4つの基本目標のうち、3つの目標にかかる内容についてお知らせしてきました。今回は、4つ目の基本目標である「将来にわたって元気な地域をつくり、安心・安全な暮らしを確保する」目標についての数値目標や成果指標の達成状況等についてお知らせします。

※地方創生の推進にあたっては、平成27年10月に策定した総合戦略に基づく数値目標や検証時の参考となる重要業績評価指標 (KPI) を参考としながら、施策や事業効果等の検証による推進方策の改善を図りつつ、着実に推進することが重要です。

### 数値目標の達成状況

基本目標4 将来にわたって元気な地域をつくり、安心・安全な暮らしを確保する

#### <基本的方向>

本別町に住み、働き、豊かな生活を送りたい人を増やし、その希望をかなえられる環境を実現するため、町民やまちづくりに関わる多様な団体が、主体的に活動する意欲や能力を高めながら、さまざまな地域づくりにおいて「自助・共助・公助」のそれぞれが効果的に推進されるよう適切な役割分担による協働により、暮らしの安心を確保する。

(計画時) 数値目標	平成31年	人口の社会増減数		本別町に住み続けたいと思う人の割合
		△ 53人		

※1 町民アンケート等において、平成31年度に測定予定

基準値	平成26年	(平成24~26年平均)	△ 106人	55.9%
	実績値	平成27年	—	△ 100人
平成28年		(1月~12月)	△ 94人	—
平成29年		(1月~12月)	△ 55人	—
達成度 ※2	A		—	

※2 達成度の目安 A：目標値達成 B：目標値の7割以上達成

○数値目標としている人口の社会増減数は、人口移動状況における本町への転入者数と本町からの転出者数を差し引いた数のことで、転入者数が多い場合は転入超過 (社会増)、転出者数が多い場合は転出超過 (社会減) となります。

○近年、本町では転出超過が100人前後で推移してきており、転出超過数の大部分を20~24歳が占め、そのうち、おおよそ半数程度が十勝管内への流出状況となっていました。平成24年から平成26年の3か年の社会増減数の平均は△106人 (平成26年基準値) であり、総合戦略において、平成31年度までに社会減数を半数に抑えることを数値目標としています。

○平成29年度においては、社会減数が大きく減少しましたが、主な要因としては、転勤や就職による減少数が少なくなったことや、農業大学の卒業生より同校への入学者数が多かったことが要因として捉えています。

まちの高校を  
みんなで  
育てよう!

# 本別高校の支援の輪を広げる町民の集い

伝統ある本別高校を町全体で支援しようと、本別高校の支援の輪を広げる町民の集い（町、町教育委員会、本別高校の教育を考える会主催）が8月8日、中央公民館で開催され、町内小・中・高校生約280人が参加しました。

問い合わせ  
教育委員会 管理課  
☎22-2331



オープニングを飾った  
吹奏楽部の演奏

オープニングセレモニーとして、本別高校吹奏楽部（員瀬末有部長、19人）の演奏で始まった集いは、高橋正夫町長があいさつで、「本別の子供たちは、親元から本別高校に通い、町民や歴史などを身につけて大人になっていくよう、皆さんに応援していただきたい」と会場に呼び掛け、続いて、佐々木基裕教育長が本別高校の現状を報告。4月に着任した本別高校近藤浩文校長は、高校野球大会全校応援や学校祭などの取り組みと胸を熱くした体験を語り、「この素晴らしい生徒たちに囲まれて仕事ができることを誇りに感じている」と「本音」の感想を述べました。



本別高校の現状  
本別町教育委員会  
佐々木 基裕 教育長

美さん、卒業生代表の中野慎吾さんが学校の取り組みや魅力、感謝の思いなどを語り、集いの最後には、会場全体で本別高校校歌を斉唱して本別高校支援への思いを一つにしました。

本別高校の現状として、3年連続1間口となり、来春の入学募集学級の2間口確保が厳しいが、2間口維持に向けて道教育委員会に強く要請しています。同委員会「これからの高校づくりに関する指針」が3月に示され、本別高校が再編の対象であることは変わらないが、地理的状况や地元からの進学率が高い高校は地域連携特例校として存続が可能。しかし、楽観視することなく、募集枠・実入学生員ともに2間口確保に向けて全力で取り組みます。

町の子どもは町で育てる。高校生は地域の子どものリーダーであり、高校が存続することにより町の活性化につながることを信じています。町民の皆さんのご支援をお願いします。



集いに参加した本高生がステージに立ち、吹奏楽部の演奏で、来場者とともに本別高校校歌を斉唱

## 本別高校の取り組み

本別高校

**近藤 浩文 校長**  
青春真っただ中で、多くの悩みを抱えている年代にも関わらず、明るく素直に学校生活を送っている本高生は立派だと感じています。

4年制大学の進学率、国立大など進学先を見ても、同規模高校では極めて稀で、伝統校としての体制が維持されている。本別高校の強みは、素晴らしい生徒と情熱あふれる教員、教育委員会との連携、本別高校を考える会のバックアップ体制であり、町民の皆さんの支援が励みになります。



## 本別高校の魅力

生徒代表 3年

佐々木 桃佳 さん



※OCTVの映像に沿って学校生活やイベント行事を紹介。地元の高校への進学は、学校の話聞いてくれる家族がいると気持ちが楽になる。一人暮らしで家事にかかる時間を勉強に費やせるなどメリットがたくさん。先輩後輩の仲も良く、先生の指導も熱心です。

## 本別高校から進学は可能

平成26年度卒業

中野 慎吾 さん



本別高校で勉強を頑張った人は、帯広の高校生と遜色なく、進学や就職に困ることはありません。部活動についても、サッカー1部は人数不足のため他部から助っ人を得て十勝大会に出場しましたが、ベスト4に入ることができました。環境も大切ですが、自分次第でなんとかなるし、すべて楽しかった思い出として残っています。

## 先を見据えた高校選択を

保護者代表

柳澤 真佐美 さん



本高生は地域の皆さんに見守られ助けられていると感謝しています。中学生のときから高校・大学を見据えた進路検討が必要な時代。高校まではなるべく費用をかけず、卒業後に十勝から出ることがあれば、地元のことを考える大人に成長できる可能性があります。とあります。

## 本高の熱い思い届けたい

本別高校の教育を考える会

山根 博和 会長



本別高校の取り組みや熱い思いを今後も届けたいです。多くの皆さんからご意見をいただき、反映させ、今まで以上に開かれた会になるよう務めたいと思います。

- 来場者へのアンケートにより、集いや本別高校支援に対する多くの意見が寄せられました。
- ・こんなに熱い生徒、先生、学校だったとは本当に知りませんでした！
  - ・校長先生が本音で話をされた、本別高校の良さが伝わった
  - ・少人数でも充実した環境が理解できた
  - ・本高生が正直うらやましい
  - ・地元が高校があるということはあるがたいこと認識しました。地域でも応援したいと思います
  - ・生徒の素晴らしい意見をもっと発信して、大人は支援の輪を広げよう！
  - ・今回の集いの後、主催者はPTAなどと連携を強化してほしい
  - ・通学に不安があったが、本高に通わせて良かった。町民の皆さんの熱心な取り組みが伝統高校存続の力になっていると感じています



# 第34年次 ジュニアリーダー初級研修会兼 本別・南三陸ふるさと交流研修会

町内の中学生8人が7月30日から8月4日までの期間、ジュニアリーダー（JL）の資格を得るため、3人の中学生のJLとともに「本別・南三陸ふるさと交流研修会」に参加しました。



2018年7月30日～8月4日

昭和60年から始まった同交流研修会は、毎年、夏は宮城県南三陸町、冬は本別町を会場に行われ、今年で34回目。夏の交流研修では、地域活動の振興を図る年少指導者養成のため、宮城県教育委員会のJL初級研修を通して青年ボランティア活動に必要な基礎・基本を習得し、両町の次世代を担う青少年リーダーが共同生活を体験することで地域間交流を図っています。

参加した中学生は、本別町と南三陸町のJL協力のもと、社会教育専門の講義やレクリエーション・キャンプファイアなどの実技のほか、本別町では体験できない海洋活動などを経験。先輩たちからの友情のともじびを引き継ぎ、ボランティア活動など地域づくりに参画するJLとしての第一歩を踏み出しました。

本別町と南三陸町の  
ジュニアリーダー団体

本別ボランティアクラブ  
(HVC) かね  
南三陸ボランティアサークル  
(MVC) ぶらんこ

## 3人のジュニアリーダー（JL）



サブリーダー  
**久木田 夏那** さん 勇足中学校3年  
今回の研修会でぶらんこのみんなのような素敵なJLを目標としたと感じました！



サブリーダー  
**前田 未郁** さん 帯広三条高校2年  
今回2回目の派遣で、改めてぶらんこのみんなとJLの活動がとても大切だと実感しました。



サブリーダー  
**佐藤 朱理** さん 本別高校2年  
とても楽しい研修会でした。3月は私たちが迎える番なので、これから頑張ります。

## 8人の初級研修生

石村あみさん  
本別中学校1年



研修を通して『親切』がとてもわかりました。

佐藤花実さん  
本別中学校1年



3日間という少しの間にたくさん友達ができ嬉しかったです。

渡邊彩花さん  
本別中学校2年



初級研修会で学んだことをこれからのかめの活動で活かして行きたいです。

竹村帆乃佳さん  
本別中学校2年



私はふるさと交流研修会で大きく成長できたと思いました。

井原来実さん  
勇足中学校1年



この3日間でみんなと協力したり話すことが出来ました。

山根桃香さん  
本別中学校1年



私もJLさんみたいになりたいな。研修会でできた縁を大切にしたいです。

山根楓香さん  
本別中学校1年



研修でいっぱい学んだ南三陸の事を、今後、使えるようにしたいです。

三品桜世さん  
本別中学校2年



このふるさと交流研修会で少ですが自分が成長できたと思います。

## 引率者より

34年目の交流となる、ふるさと交流研修会に今回初めて参加しました。ジュニアリーダーの初級研修を受ける中学生には、①自らの体調管理、②失敗を恐れない、③思い切り楽しむ、の3つを心がけ研修会に参加してもらいました。過酷な猛暑の中、本別では体験できない海洋活動を中心に研修は取り進められ、先輩や南三陸町の仲間たちと、真剣まなざしで活動する姿がとても印象的でした。真剣に取り組み、心から楽しんだからこそ感動がひとしおで、友情が芽生えることを実感したと目に映りました。

南三陸町では新しい施設や住宅が林立してきましたが、海岸近くの防災対策庁舎周辺はまだまだ復興途中であり、重機の作業音があたり一面に響き渡る状況でした。そんな状況でありながら、南三陸町の皆さまは私たちが温かく迎え入れてくださり、大勢のスタッフには愛情いっぱいご配慮を賜りました。絆を紡いできたこのふるさと交流研修会でジュニアリーダーは教え育まれ、次代を担うリーダーに躍進し、さまざまな面で活躍することを切に願います。

教育委員会社会教育課 主査 山岡裕幸

## 問い合わせ

教育委員会  
社会教育担当  
☎ 22-5111

## 研修日程

- 7月30日(月)
- 中央公民館出発
  - 苫小牧港発(太平洋フェリー)
- 7月31日(火)
- 仙台港着
  - 南三陸町役場着
  - 町内視察研修
  - 民宿着



8月1日(水)

- JL初級研修会(1日目)
- いかだレース
- バナナボート体験



8月2日(木)

- JL初級研修会(2日目)
- カッター漕艇や
- キャンプファイアーを体験



8月3日(金)

- JL初級研修会(3日目)
- 志津川自然の家出発
- 松島町内見学
- 仙台市内見学
- 仙台港発(太平洋フェリー)



8月4日(土)

- 苫小牧港着
- 中央公民館到着



# 夏だ! ビールだ! 本別夏

今年も7月から8月にかけて、さまざまな夏のイベントが開催されました。各会場ともたくさんの来場者がビールなどの飲み物を片手に仲間と語り、ステージイベントや抽選会などで盛り上がりました。また、地元でしか食べられない趣向を凝らした食事メニューなど本別の味覚を楽しみました。



## 8/3 道の駅ビアガーデン

主催：NPO法人 銀河ほんべつ  
道の駅★ステラほんべつ  
駐車場横広場

道の駅「ステラ★ほんべつ」オーブン以来、毎年開催されているビアガーデンは今年で10回目。道の駅うまいもの市として、特製手作りピザやえだ豆、特製やきそばのほか、本別町特産黒豆みそブタまんなどが提供され、多くの来場者はビールなどを片手ににぎわいました。

## ほんべつ肉まつり

## 8/19 主催：実行委員会 本別公園平広場

地域で生産されたお肉を味わってもらおうと、本別町をはじめ足寄町や陸別町、宮崎県などから和牛や豚肉のほか多彩なお肉が登場。羊の丸焼きコーナーには約80人が列をつくり、白糠町や標津町のホタテや鮭、タコなどの海産物も販売されました。ステージでのライブ演奏で盛り上がるなか、会場内には約600台の焼き台が用意され、約1,700人の来場者が焼き肉を楽しみました。



# のイベント盛大に開催!



## スタッフフェスティバル2018 7/14



主催：銀河通り商店街  
協同組合  
銀河通り特設会場



本別産の食材を使ったピザ、ハンバーガーや焼きそばのほか、炭火焼のかきや焼き鳥などが販売され、来場者は食を満喫。また、子ども縁日としてかき氷やカラフルな縮あめが人気を呼びました。義経太鼓保存会の演奏やダンシングスターの演舞、ものまねステージなどのイベントに会場は盛り上がりました。

## 第33回チャリティー樽生ビア彩 7/28

テーマ「九州!!」 主催：本別町商工会青年部 役場前駐車場



今年九州をテーマに開催され、薩摩地鶏の炭火焼き、焼きラーメン、芋焼酎などが販売されたほか、長崎県出身・福山雅治の楽曲に限定したカラオケ大会を実施。さらにバンド演奏では曲に合わせて来場者が一体となりダンスを踊りました。

また会場では、本別・足寄・陸別の商工会青年部が中心となった池北3町食ブランド研究会が、新たな食ブランド開発としてクラフトビールを提供しました。





# 第40回子ども七夕まつり

第40回子ども七夕まつり（実行委員会主催・久能利幸実行委員長）が8月5日、役場前駐車場で開催された。



会場内には柳の木が設置され、会場を訪れた子供たちが短冊に願い事を書き、それぞれ飾りつけました。また、射的やスーパールールすくいなどの遊びのコーナーではゲームを楽しみ、やきそばやポップコーン、綿あめなどの食のコーナーを満喫しました。



盆踊りでは、町内の幼児や小学生などたくさんの子供たちがやぐらを囲んで大きな輪を作り、曲に合わせて「だっこしよ」と声を出しながら元気いっぱい踊りを披露。踊りの後には義経太鼓保存会牛若組による太鼓演奏、花火大会が行われ、多くの家族連れが楽しい夏の日を過ごしました。

## 防犯ポスター表彰式も開催

平成30年度「防犯ポスター」表彰式が子ども七夕まつりの開会式で行われ、受賞者に賞状と記念品を手渡されました。受賞者は以下の通り（敬称略）。

最優秀賞＝二瓶由理亜（勇足中学校3年）  
 優秀賞＝本別町長賞：山田陽菜乃（勇足中学校2年）  
 本別警察署長賞：吉川琉毅（勇足小学校4年）  
 本別町生活安全推進協議会長賞：井原來実（勇足中学校1年）



# 介護事業所で夏まつり

小規模多機能事業所などの町内の介護事業所で夏まつりが、それぞれ開催されました。



8月4日 陽だまりの里



8月4日 アメニティ本別



実行委員会（岡崎勉実行委員長）主催による、ほんべつ夏まつり事業盆踊りが8月14日、役場前駐車場で開催されました。



祭りには子ども盆踊りからスタートし、続いて義経太鼓保存会が太鼓演奏を披露。会場内ではピアガーデンを楽しむ人ではじまりました。一般盆踊りでは、町内の団体やグループ、帰省中の家族連れなど子どもから大人まで約180人が浴衣のほか、仮装など工夫を凝らした衣装をま



とって踊りを楽しみ、最後は盆踊り参加者が対象の抽選会や、台湾ペア旅行が当たるビンゴ大会、恒例の餅まきで盛り上がりました。

## 仙美里地区盆踊り

旧仙美里中学校施設等を活用する仙美里プロジェクト（朝日基光代表）が主催する盆踊りが8月11日、同校グラウンドで行われました。焼き鳥やカキ氷などの屋台が出されたほか、仙美里地区内外の子どもから大人までがやぐらを囲んで踊り、会場に集まった約200人は大いに盛り上がりました。



8月8日 ゆうあいの里



夏まつりでは、施設利用者やその家族、地域の人が参加し、会場では屋台や緑日など各事業所で工夫を凝らした催しが行われました。入所者は食やゲームを楽しみ、家族などふれあい、夏を満喫しました。

8月18日 清流の里



8月8日 共生ホームきらり



# ほんべつ 体験セミナー

介護サービス事業者連絡会（荒屋敷典光会長）が主催する「GO!GO!介護ほんべつ体験セミナー（以下「GOGO介護」）が8月7日～9日、町内の介護サービス事業所などを会場に開催されました。

**本別の魅力と福祉の取り組みを「見て」「知って」「感じる」3日間!!**

全国的に介護福祉士などの介護人材不足が大きな問題となっている中、本町では介護人材確保対策として補助金などさまざまな施策を行っています。しかし、町外から介護人材を確保するにあたっては、「知らない町は就職先の候補にならない」などの理由から、求人や説明会を行っても就職に結びつくケースはなかなか難しいものでした。そこで、本町の魅力や介護サービス事業所を知ってもらうためには、実際に本別町にきて、肌で本別町の良さを感じてもらおうのが一番として、町外の介護福祉士養成校などの学生を対象にGOGO介護を実施。今年で3年目の取り組みに、道内各地から19人が参加しました。



歓迎交流パーティー

「GOGO介護」は、町内の介護サービス事業所の若手職員らが主体となって実行委員会を組織。本別町の魅力を発信するための企画を準備し、当日の運営まで行いました。参加者は、道の駅などの町内要所やサービス事業所の見学から始まり、各事業所職員との交流や体験、夕食交流会では、将来介護職を目指す本別高校生徒との交流や、今年のGOGO介護に参加して現在は町内事業所で働く職員が激励の言葉を贈るなど、本別町を知る濃密な時間を過ごしました。



夕食交流会での感想発表



事業所実習体験



事業所見学



参加者が自ら通う養成校を紹介

参加者からみた本別・事業所・職員と利用者の距離が近い・事業者同士のつながりが強い町がきれい・自然がいっぱいで住みやすい・GOGO介護に参加した感想・充実した3日間でした。来年はいっぱい仲間を連れてきます。来る前は自分が行って良いのか不安があったが、来てみて視野が広がりました。3日間楽しかったです。本別に来てみたいと分らないことがたくさんありました。町全体で介護を取り組んでいるのを感じた。その中で働けたらと思います。



**今後の抱負**  
まずは仕事を覚えて、全体をみられるような介護士になりたい。



**大三島奈菜穂**  
(21歳)  
ゆうあいの里

◆昨年の「GOGO介護」の感想  
最初は旅行感覚でしたが、実際に来てみて良さを感じました。実際に来て本別町に住んでみて、小さい町なりに住民がやさしい。コンビニなども思ったよりも住みやすい。現在の職場は？  
職員の皆さんが気にかけてくれるので、楽しく働いています。

**今後の抱負**  
早く全部の業務を覚えて、一人の職員としてやっていけるようにする。



**五十嵐 開**  
(21歳)  
アメニティ本別

◆昨年の「GOGO介護」の感想  
緊張もあったが、職員も参加者も元気がみなぎっていたので、楽しく過ごせた。本別町に住んでみて、人の多いところが苦手なので、もう少し良く住みやすいです。イベントも多々スパーなどもあり生活には問題ない。遊ぶ所が少ない。現在の職場は？  
職員の皆さんが親切で、なにか困った時にすぐ来てくれる。良い先輩に恵まれてうれしい。

私たちは、昨年のGOGO介護に参加して本別に就職しました!



**工藤 亮**  
(26歳)  
陽だまりの里

◆昨年の「GOGO介護」の感想  
小規模多機能型事業所を見たことがなかったので、新しい発見がありました。本別町に住んでみて、意外と不便は無いです。町の人が話しかけてくれてやさしい。遊ぶ所が無い。現在の職場は？  
皆さんフレンドリーで働きやすいです。職員の連携も取れており、体への負担も少ない。



**本直 也**  
(20歳)  
清流の里

◆昨年の「GOGO介護」の感想  
実習や見学を通して、札幌の施設には無い家族のような関係が感じられたのがよかった。本別町に住んでみて、意外と住みやすいです。札幌よりも人に見られている感覚が強いので、責任が湧きます。現在の職場は？  
職員の皆さんが声掛けをしてくれたり、人間関係、環境含めて働きやすい。



**今後の抱負**  
早く一人前の職員になりたい。地域福祉の勉強を深めたい。

**今後の抱負**  
一年で仕事を覚え、施設が良くなるための提案ができるようになりたい。



こんな取組もしています

「GOGO介護 番外編」  
同連絡会が主催する、「GOGO介護（番外編）ようこそ先生 本別町へ」が7月28日・29日、町内で開催され、道内の介護福祉士養成校の職員3人が参加しました。GOGO介護に生徒を送り出す養成校の職員にも本町の取り組みや介護サービス事業所を理解してもらおうと今年度初めて実施。参加者は、町内事業所の見学や事業所職員との懇談を行ったほか、本別町の補助制度など説明を受け、「GOGO介護に参加できない学生もいるので、この取り組みを学校で説明してほしい」となど感想を述べました。



# Information



FIAアジア・パシフィックラリー選手権 第4戦  
 JAF全日本ラリー選手権 第8戦  
 日本スーパーラリーシリーズ 第4戦  
**ラリー北海道**

十勝の6市町村で国際ラリー大会「ラリー北海道」が今年も開催されます。本別町内では、上押帯から美蘭別、活込までの町道と林道が複合する延長13.79kmのスペシャル・ステージ（SS）「本別林道ステージ」が設定され、最大800人収容の観戦エリア（美蘭別）も用意されています。ド迫力のラリー走行を間近でご覧ください。



本別林道  
 ステージ  
 大会日程

**9月16日(日)**

開 始  
 予定時間

1回目(SS11) 午前6時54分  
 2回目(SS15) 午後1時43分

**前売り観戦チケット販売中!!**

前売り観戦チケットを、町民向けに販売します。  
 価格は通常2000円のところ1200円です。  
 ※中学生以下は無料（保護者の同伴が必要）  
 ※帯広、音更、足寄、陸別ステージの観戦チケットも取り扱っています



**チケット販売所および問い合わせ**

町観光協会事務局（役場企画振興課内）  
 ☎ 22-8121

## 本別ラリーパークへGo!

ラリー北海道の開催に合わせて、道の駅「ステラ★ほんべつ」にラリーパークが開設されます。競技中のラリーカーが立ち寄り、憧れのドライバーに会えるチャンス！レプリカ車両の展示もあります。

**と き** 9月16日(日) 午前10時～正午

※大会の進行により時間が変更になる場合があります

**と ころ** 道の駅「ステラ★ほんべつ」東側駐車場



明治末期の寺子屋から始まった本別町の教育、大正時代に入ると尋常小学校の義務教育ばかりでなく、農業補習などの実務教育が期待されるようになり、また、農村の女子教育の必要性も叫ばれるようになり、十勝管内では帯広に私立女学校が1校しかなかったこのころ、本別町に相次いで2校が創設されたのです。

「歴史写真館@ほんべつ」6回目は、大正8（1919）年設立の「本別精華裁縫女学校」と並んで十勝の女子教育に大きく貢献した「十勝裁縫女学校」の写真とともに、今も残る顕彰碑、胸章を紹介いたします。



① 十勝裁縫女学校第2回卒業記念（大正12年撮影／歴史民俗資料館所蔵）



② 川上孝代顕彰碑（東町・森と川の舍横）  
 胸像レリーフと校歌が刻まれている

写真①は、原寸縦21cm・横27cmと大判で、厚くて立派な台紙に貼られたものです。上部の記載から、大正10（1921）年に設立したこの学校の第2回卒業記念写真であることが分かります。前列中央にいるのが、創立者の川上孝代校長（当時44歳）。明治末期、岡山県から移住した幕別町で裁縫塾を開き、大正6（1917）年、好景気に沸く本別で「川上裁縫女学校」を開校。キリスト教の伝道者でもありました。

同校は同10年に町内有志の協力で北海道庁に認可され「私立十勝裁縫女学校、昭和19（1944）年には「財団法人十勝女子商業学校」に昇格、同23（1948）年、学制改革に伴い「学校法人川上学園本別家政専門学校」として再建されましたが、高校進学率の上昇などにより入学者が減少し、同50（1975）年に閉校となりました。



③ 十勝女子商業学校の胸章（校章バッチ）  
 縦1.9cm×横1.9cm

「女性にも教養が必要」と、苦学して茶道・華道、和洋裁の師範免状を取得し、十勝でも女子教育の草分けとなった川上校長。没後40年にあたる同62（1987）年、その功績を讃える碑が、本町唯一の景勝地、本別公園内に建立されました（写真②）。67年間の生涯と、戦中戦後の混乱期にも地域の教育に注いだ情熱は、教え子らによる記念誌「一粒の麦」にも詳しく伝えられています。

昨年、町内在住の同校卒業生から、資料館に一つの胸章が寄贈されました（写真③）。同20（1945）年の在学中、空襲で校舎も焼付近にあった下宿も焼失し、実家から列車で仮校舎に通ったことが忘れられないとか。

この小さなバッチを手にとると、155年間に果立った5000人も女性の思い出話が聞こえてくるようです。

**お問い合わせ**  
 歴史民俗資料館  
 ☎ 22-2141 内410  
 図書館 ☎ 22-15112



## 全道大会に出場します **7/19**

十勝の予選に勝ち抜き、北海道中学校体育大会の水泳と剣道競技に出場する本別中学校（寺島康博校長）の生徒3人が7月19日、教育委員会を訪れ、佐々木基裕教育長に全道大会の出場を報告しました。各選手たちは「悔いの残らないようベストを尽くす」など大会への抱負を力強く語りました。



### 全道大会の結果

決勝進出を逃したものの、水泳では自己ベストを更新、剣道は1勝をあげるなど健闘しました。

## 飲酒運転は絶対にやめて！ **7/13**

町交通安全指導員会（宮崎統会長）が7月13日、飲酒運転根絶の日に係る交通安全キャンペーンを行いました。これは同日が北海道飲酒運転の根絶に関する条例で定められた飲酒運転根絶の日であることから道内全域で取り組まれているもの。同指導員7人は2班に分かれ、町内のスーパー前で飲酒運転根絶のメッセージが入ったうちわなどを配付し、「飲酒運転は絶対にやめてください」と呼び掛けました。



## 長年の人権擁護活動に感謝状 **7/20**

長年にわたり本町の人権擁護委員として活動した田口昭子さん（柏木町）への法務大臣感謝状伝達式が7月20日、役場で行われました。田口さんは平成15年7月1日から平成30年6月30日まで5期15年間、同委員として人権思想の普及高揚に尽力。伝達式では、木幡賢路路地方法務局帯広支局長から田口さんへ感謝状が手渡されました。田口さんは「多くの皆さんと出会い、相手の気持ちを考えながら楽しく務めることができました」とこれまでの活動の思い出や感謝の思いを語りました。



## 児童が北方領土を学ぶ **7/19**

本別中央小学校（山川修校長）が7月19日、帯広在住で元択捉島民の安田愛子さんを講師に招き、同校体育館で北方領土を学ぶ特別授業を行いました。これは北海道教育委員会が行う北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業の一環で開催されたもの。安田さんは同校4～6年生約100人を前に、幼少時に過ごした島の暮らしや戦時中に島を占拠した旧ソ連軍と過ごしたこと、日本人住民が強制送還させられた状況など児童らにわかりやすく説明し、児童らは北方領土での当時の生活や暮らしについて理解を深めました。



# 前期を振り返り、 農大の出来事を ダイジェストで紹介！

各学校の手作りページ

# HELLO 農業大学校

## 体育祭・農大祭

6月30日～7月1日の2日間、「～盛り上がり農大祭わやDAGAN～」をテーマに、第45回農大祭を開催しました。1日目の体育祭は晴天に恵まれ、綱引き・騎馬戦・リレー等で日ごろの実習で培った体力を競い合いました。2日目の一般公開は、天気はあいにくの小雨でしたが、午前10時の開始とともにたくさんの人が訪れ、人気の模擬店には長い行列ができていました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。



後夜祭で盛り上がる学生



仙美里ヶ丘ブランドの販売



クラス対抗の体育祭

## 農大行事フォトアルバム

玉ネギ定植 5月10日



機械移植後の補植作業

交通安全講話会 4月13日



JAF（日本自動車連盟）による講話

入校式 4月9日



入校生代表が宣誓

人工授精師講習会 7月24日



直腸検査実習

アグリライブ論 6月15日



フリーアナウンサー青山千景さんの講義

強歩大会 5月25日



32.195kmを完歩

## 空手全国大会出場を報告 7/23

第38回北海道少年少女空手道練成大会、小学3年生男子形の部で3位入賞し、8月4日、5日に行われる第18回全日本少年少女空手道選手権大会に出場する本別空手連盟の山下仁来さんが7月23日、教育委員会を訪れ佐々木基裕教育長へ全国大会出場を報告しました。山下さんは「練習通りに試合で形をやって1位を取ります」と力強く抱負を述べ、佐々木教育長は「練習の成果を思い切って発揮してください」と激励しました。



東京都で行われた全国大会では、3回戦で敗れたものの、堂々と演舞しました。

## いざというときの ために 7/26

本別中央小学校（山川校長）の教職員を対象とした一般救急講習会が7月26日、同校で行われました。本別消防署職員2人が講師となり、熱中症の予防について説明した後、人形を使った心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法について説明。参加した教職員10人は、いざというときに備えて、大人や子どもの救命方法を学びました。



## 本別高校で英語力アップ 7/25

本別高校（近藤浩文校長）で夏休み中の進学講習として英検受験対策講習が7月25日、町教育委員会英語教員の佐々木美保さんを講師に迎えて行われました。同講習は、英検2級または準2級取得を通して大学受験に向けた英語力を養うことを目的に、本別高校の1～2年生を対象に今年度から実施。準2級を目指す生徒19人は、佐々木さんの指導に真剣な表情で取り組みました。夏期講習は31日まで5回開催され、新学期以降は放課後週2回、同2級対象者6人を合せて佐々木さんの指導を受けます。



## 介護に関する研修会が開催

### 介護福祉士実務者 研修が町内初開催 7/20

帯広高齢者支援協会（東良二代表理事）が主催する介護福祉士実務者研修が町内では初めて開催され、第1回講習が7月20日、総合ケアセンターで開かれました。この研修は介護職で働く人のスキルアップのみならず、介護福祉士国家試験の受験に必要な資格を得るもので、町内事業所に勤める11人が受講。講習では介護過程について学んだほか、今後、面接授業のスクーリング、略痰吸引などの医療的ケアを行う実技等、計320時間の研修を経て、資格取得を目指します。



### 介護職員初任者研修がスタート 7/26



本別町介護サービス事業所連絡会（荒屋敷典光会長）が主催する介護職員初任者研修7月26日、あいの里交流センターでスタートしました。今年度で3回目となる同研修は、本別高校生5人を含む9人が受講。この日は開講式に続いて講習が行われ、介護の多様なサービスについて学びました。受講者は11月中旬までの計21回130時間の講習と修了試験を合格することで、介護職員初任者研修修了者の資格を取得できます。

### 親子でリラックス 7/23

子育てママのためのリフレッシュ講座「ベビーマッサージ&ママのためのオイルマッサージ」（子育て支援センターほんべつ主催）が7月23日、健康管理センターで行われました。アロマセラピストの内田ちさとさんを講師に、親子13組26人が参加。参加したママは、赤ちゃんに声を掛けながらおなかや背中、手や足をやさしくマッサージしました。参加した親子はぬくもりを感じながら、リラックスしたひとときを過ごしました。



# 国民年金 コーナー

免除された国民年金  
保険料を追加で  
支払いたいとき  
その1/97

国民年金保険料の免除等を受けた期間があると、保険料を全額納付したときと比べ、老齢基礎年金の年金額が少なくなりますが、免除等を受けた期間の保険料を後から納付（追納）することで、年金額を増やすことができます。

#### 追納できる期間

過去10年以内に国民年金保険料を免除（全額免除・一部免除、法定免除、納付猶予、学生納付特例を受けた期間）が対象です。

#### 申込方法

- ・ 次のものをお持ちになり、住民課戸籍年金担当窓口または帯広年金事務所まで申請してください。
- ・ マイナンバーカードまたは通知カード
- ・ 本人確認書類（免許証など）
- ・ 年金手帳または基礎年金番号通知書
- ・ 印鑑

#### 注意事項

- ・ 追納を承認された期間のうち、原則古い期間から納付することになります。
- ・ 平成27年度以前の保険料には、当時の保険料に一定の加算額が上乗せされます。
- ・ 一部免除期間は、残りの納付すべき保険料を納付していない場合は、追納できません。
- ・ 老齢基礎年金を受給している人は、追納できません。

#### 参考

平成31年3月31日までに追納する場合の保険料額

追納額	追納額
平成20年度	15,170円
平成21年度	15,260円
平成22年度	15,520円
平成23年度	15,310円
平成24年度	15,160円
平成25年度	15,130円
平成26年度	15,280円
平成27年度	15,610円
平成28年度	16,260円
平成29年度	16,490円

※全額免除のみ掲載しています。月額。平成28年度、29年度は加算額がありません。

詳細は  
 住民課戸籍年金担当へ  
 ☎22-8128  
 帯広年金事務所  
 ☎0155-251-8113  
 日本年金機構のホームページは  
<http://www.nenkin.go.jp/>



## ミッチェルとの 交流へ結団式

8 9

第19次オーストラリア・ミッチェル訪問団結団式が8月9日、町体育館で開かれました。この事業は中学生・高校生国際交流研修派遣事業として隔年で行われ、訪問団は町内2中学校と本別高校からの10人の生徒が参加して10月10日から9日間の日程で、現地のホームステイをしながらホストファミリーとの交流や学校訪問などの研修を行う予定。佐々木基裕教育長が「研修では自己研さんして大きく成長できます。いろいろな体験を通して国際理解教育を深めてください」とあいさつし、参加する生徒は「たくさん英語を学びたい」「価値観が異なることなどさまざまなことを感じとりたい」など、一人ひとり抱負を述べました。



## キャンプで 自然と触れ合う

8 1~2

あかげら少年団（町教育委員会主催）の前期第3回「夏休みキャンプ自然探偵団！」が8月1日から2日の2日間、本別公園静山キャンプ場などで開催されました。この日は団員など町内小学生11人のほか、本別高校の生徒14人がボランティアとして参加。全員でテントを設営し、飯ごうでご飯を炊きカレーライスを食べ、キャンプファイアなどで交流しました。また、今年度は本別公園の散策を中心に行われ、森と川の舎展示の化石を見学したり、救命胴衣を着用した川流れなど普段できない川遊びを行い、自然との触れ合いを楽しみました。



## 農大が オープンキャンパス

7 27

北海道立農業大学校（山黒良寛校長）が7月27日、道内外の高校生などを対象にオープンキャンパスを開催しました。これは同校の実践的な教育内容の理解を図り、進路選択の参考となるよう実施されたもの。高校生とその保護者など参加者108人は4グループに分かれ、施設見学や各分野のプロジェクトなどの実習を体験しました。現役の同校学生が主体的に高校生を案内し、また寮生活や研究内容を語ることで、参加者は同校での学生生活についてイメージを持つことができました。



## ボランティア ありがとう まちがきれいに

7 27・28

本別中学校陸上部（志谷通名部長）が7月27日、河川敷運動公園や市街地の道路などでゴミ拾いのボランティア作業を行いました。これは同部が同公園などの施設や市街地の道路を使用して駅伝の練習を行っているため、練習できる環境に感謝の気持ちを込めて行ったもの。この日参加した部員8人は二人一組になり、捨てられたペットボトルなどを回収しました。同部では地域貢献活動として、月1回のペースで雪が積もるまでの間、同作業を行う予定です。



## 前教育委員水谷令子さんが 教育功労者表彰を受賞

8 10

長年にわたり本町の教育委員を務めた水谷令子さん（北3丁目）への全国市町村教育委員会連合会および北海道町村教育委員会連合会の功労者表彰伝達式が8月10日、教育長室で行われ、佐々木基裕教育長から表彰状が手渡されました。水谷さんは平成17年10月20日から3期12年間、同委員を務め、うち平成24年1月から平成27年5月まで教育委員長、続けて平成29年10月まで教育長職務代理者を歴任。本町の教育向上および教育行政の推進・発展に尽力した功績が認められました。



## ドッジボールで白熱

8 6

第59回少年少女体育大会（町教育委員会主催）が8月6日、町体育館で開催されました。今年は混成の7人制ドッジボールが実施され、町内の3小学校から8チーム64人が参加。試合は2つのブロックに分かれて予選を行い、突破した上位チームで優勝が争われました。児童らは大勢の保護者などが見守る中、白熱した戦いを繰り広げました。成績は次のとおり。

- 1位=チームガッツ！（勇足小）
- 2位=本別タイガース（本別中央小）
- 3位=本別ドラゴンズ（本別中央小）



## 戦争も核もない 平和な未来を

7 30

反戦・反核の願いを込め、広島市の平和記念公園から引き継がれた「平和の火」を走りつなぐ「反核平和の火リレー」が7月30日、町内で行われました。今年で31回目となる取り組みに、参加した約20人のランナーは平和の火を灯したトーチを掲げ、役場前広場から市街地を経由して共栄までの国道を走りながら「安心して生活できる核のない平和な社会の実現」を呼び掛けました。



野田土建（田名邊義夫社長）と鹿島組（鹿島豊隆社長）の作業員10人が7月28日、町道チャシ公園通り（弥生町）などについて、除草作業などの環境整備ボランティアを行いました。同作業員は刈り払い機で雑草を丁寧に刈り取った後、電動プロアやレーキで集めて除去。本別中央小学校児童の通学路である同区間は見通しが良くなり、新学期からも安心して登下校できるようになりました。



# 未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね！



北町目  
川村 耀太くん  
(美里ママ)



押帯  
金山 瑞希ちゃん  
(昌子ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しております



■練習日・場所 火・金曜日/美里別公民館  
■問い合わせ 佐々木会長 ☎090-8905-3805

## 一緒に音楽を

～本別ブラスアンサンブル～  
本別ブラスアンサンブル(佐々木公司会長)は、町内外の社会人や学生など、吹奏楽の愛好者で構成されています。年齢や職種もさまざまなお人たちが集まり、吹奏楽合同演奏会や音楽祭への参加のほか、クリスマスコンサートなどの演奏会を企画しています。

現在、団員を募集中。一緒に吹奏楽を楽しんでみませんか？練習の見学だけでも大歓迎です。興味のある人は、ぜひお問い合わせください。

## ご寄付ありがとうございます

平成30年7月16日から8月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別消防団物品購入費

金 100,000円 …… 匿名

★本別町公共施設等整備基金指定寄付金  
金 9,343円 …… 鎌侶墓地利用有志一同

★老人ホーム指定  
スイカ 7玉 …… 本別中央自治会連合会 会長 北谷 和雄

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付  
計 金 1,915,000円 …… 126名

# みんなの健康

409

皆さんは1日の食塩摂取目標量を知っていますか？日本人の食塩摂取量は男性で1日8g未満、女性で7g未満とされています。食塩の取り過ぎは、高血圧を引き起こし、脳卒中や心筋梗塞、腎臓病などの原因になります。血圧の高い人から「年を取っているのだから血圧が高くて当たり前」と言われることがありますが、「一年を取ることが高血圧の原因」ではなく、「長年の食塩の取り過ぎが、高血圧につながる」と考えるべきです。実際、日本人では30歳代以降、加齢とともに血圧が上昇する傾向がありますが、塩分摂取の少ないケニアに住む人には、加齢に伴う血圧上昇が見られません。

日本人は、食塩の約7割を調味料から取っています。調味料に含まれる食塩量(例…しょうゆ大さじ1→食塩2.9g等)を知るとともに、調味料以外にも食塩摂取源となることが大切です。例えばカップ麺の食塩摂取量は5.5gなので、それだけで1日当たりの目標量の7割に達してしまいます。しかし、スープを残すことで、約2g減らすことができ、また、「50%減塩」と表示してある食品を選べば、食塩量を半分にできます。高血圧の予防・管理には、継続的に減塩することが必要です。熱中症予防のために食塩の摂取が推奨されていますが、炎天下での長時間作業、マラソンなど多量の発汗が長く続く場合でなければ、普通の食事摂取(3〜6g/日)の食塩摂取ができていれば脱水になることはないのです。あえて食塩を摂取しなくても良いでしょう。ただし、暑い時には食事全体の摂取量が減少しがちなため、味を濃いものにするなり「全体としての食塩摂取量がかわらない(減らない)」ようにしてください。

## 塩分について



健康管理センター  
保健師  
山崎 奈央

## 足寄町

足寄町開町110年記念  
2018オンネット物語

神秘的湖オンネットで、初秋のひとときを過ごしませんか。

日時 9月30日(日)

午前10時〜午後2時

会場所 オンネット 国設野営場ほか

内容

★自然ふれあい教室  
オンネットの散策路で森に親しむ教室です。当日も参加申し込み可。

# 銀河ホップアップ

一足寄町・陸別町から

## 陸別町

フリー北海道  
「陸別ステージ」開催

国内唯一のフリー国際格式レース「フリー北海道」が、今年も十勝を舞台に開催されます。陸別ステージは次の日程で行われます。ぜひ観戦ください。

日時 9月15日(土)

料金

前売り 2,000円  
(当日) 2,800円

お問い合わせ

陸別フリーを成功させる会  
(陸別町役場産業振興課)

☎271-2141 内線135

## 陸別町

① 午前8時28分  
② 午後11時9分  
③ 午後1時10分

料金  
前売り 2,000円  
(当日) 2,800円

お問い合わせ

陸別フリーを成功させる会  
(陸別町役場産業振興課)

☎271-2141 内線135



# 本のある暮らし 210

## 戸籍のまど

### おくやみ

7月後半から  
8月前半の  
届出分

松枝 操さん	76歳	7/31	新 町
蓑島みつ子さん	82歳	7/31	新 町
松嶋 恵一さん	75歳	8/3	柳 町
土橋 吉治さん	86歳	8/5	栄 町
大住 正榮さん	99歳	8/12	錦 町
今野 テルさん	88歳	8/13	南1丁目
石井 輝男さん	83歳	8/14	栄 町

# 夢みるチカラ

なが た もえ  
～永田萌の世界～

イラストレーターで絵本作家の永田萌さんが11月2日、「本のまち夢づくり講演会」の講師として来町されることになりました。図書館では、9月1日からテーマ展示「永田萌の世界」で、画集や絵本などの作品を紹介します。鮮やかな色彩で描く夢と物語の世界。ぜひお楽しみください。

### カラーインクの魔術師

詩人のやなせたかしが「萌さんはカラーインクの魔術師」と称しているように、永田作品の多くはカラーインクで描かれています。発色が美しいけれど、色あせしやすい画材と言われますが、独特のにじみやグラデーションは、作品の大きな魅力。うっとりするほどの美しさです。



157点の作品が  
収められた画集

童話と挿し絵  
のイラスト

永田さんといえば「花と妖精」が思い浮かぶのではないのでしょうか。花びらや葉、羽、水滴…すべてが軽やかで繊細で、まさに夢の世界。けれどもそこに命が宿っているので、美しい中にも力強さを感じられます。

### 夢の世界を描く画家

### 身近なイラスト

数々の郵便切手やイベントポスターなどにも多くのイラストを描いている永田さん。広尾町の「サンタメル」でもおなじみですね。ピアノ教本の表紙や挿絵で出会った人もいます。



イチオシ

### さくらのいろのハンカチ

作・海老名 香葉子

東京大空襲で戦災孤児となってしまったかよちゃん  
と家族の心の物語。永田さんの絵が悲しい場面も優しく包み込んでいます

講演会の詳細については、10月号「本のある暮らし」でお知らせします

## わたしたちのまち

前月比

人口 7,136人(±0)

男 3,498人(+6)

女 3,638人(-6)

世帯数 3,697戸(+2)

〔7月末日住民基本台帳〕

### お問い合わせ先

## 本別町図書館

(愛称：ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112